

# 令和2年度 予算(案)のポイント

『働くまち』から

『働いて**住む**まち』へ



令和2年2月

湖 西 市

## 1. 予算編成の基本姿勢と概要

令和の時代を迎え、時代の変遷とともに新しく生まれる多種多様なニーズに応えながら、将来にわたって持続可能な発展を目指し、

湖西市は引き続き『**職住近接**』をキーワードに、

- ① 子育て・教育の支援、充実
- ② 産業の振興
- ③ 観光・シティプロモーションの推進

を重点事業として、人口減少対策やにぎわいのあるまちづくりなど、新たな事業とこれまでの取り組みをさらに発展・深化させ、将来のために真に必要な施策を着実に推進する。

また、厳しい財政状況の中、「歳入に見合った歳出構造」の考えのもと、限られた財源を有効に活用しつつ、事業の「選択と集中」を行い、財政の健全化による持続可能な行財政基盤を構築していく。

一般会計 R2 : 217.1 億円      R1 : 212.7 億円

(+4.4 億円・+2.1%)

予算総額 R2 : 402.6 億円      R1 : 395.3 億円 (+7.3 億円・+1.8%)



本市は、企業活動が活発で地域の稼ぐ力は強いが、市外からの通勤者が多く、市外への所得流出が大きい構造となっているため、昼夜間人口の差の解消をめざし、移住・定住の促進を継続して重点的に行っている。

〈〈参考〉〉 将来を見据えた財政運営

○限られた財源を有効活用

将来の財政需要に備え、財政調整基金からの繰入を抑制

繰入額 : R1 : 8.3 億円 → R2 : 7.1 億円 (▲1.2 億円)

○市債(借金)の計画的な発行

大型建設事業に対応するため市債を発行

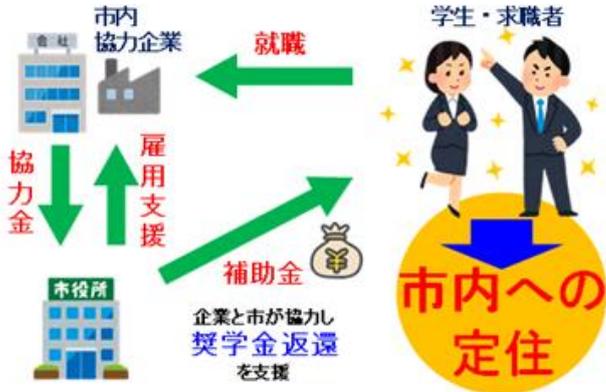
発行予定 : R1 : 当初 12.9 億円 (最終 13.6 億円) → R2 : 13.3 億円 (対当初: +0.4 億円)  
(対最終: ▲0.3 億円)

残高見込 : R1 末 : 167.3 億円 (繰越前 173.6 億※)

→ R2 末 : 171.4 億円 (+4.1 億円)

※R1 から R2 への繰越 6.3 億円の影響を除けば、市債残高は減少見込み。(▲2.2 億円)

## 令和2年度予算（案）のポイント

項目	内容
<p style="text-align: center;"><b>湖西市BaaS事業</b></p> 	<p>市内企業が運行するシャトルバスに市民も乗車を可能とする仕組みの構築など、移動の利便性向上につながる次世代型モビリティサービスの実証実験等を行います。</p>
<p style="text-align: center;"><b>わ〜くわく「こさい」で新生活！ 奨学金返還支援</b></p> 	<p>湖西市への定住促進と市内企業の雇用確保を目的とし、市内に住み市内の企業に就職する若者に対し、企業と連携した奨学金返還支援補助金を支給します。</p>
<p style="text-align: center;"><b>臭気対策への取り組み</b></p> 	<p>臭気指数の規制基準を見直すため、令和元年11月から試行している市民臭気モニターの成果をもとに臭気測定を実施します。</p> <p>また、畜産臭気対策として引き続き、畜舎の密閉化、消臭剤散布等の臭気対策を実施する畜産事業者に対して県と連携し支援していきます。</p>

# 企画部の重点事業

項目	主な内容	予算額	所管
1 わ〜くわく「こさい」で新生活！ 奨学金返還支援	湖西市への定住促進と市内企業の雇用確保を目的とし、市内に住み市内の企業に就職する若者に対し、企業と連携した奨学金返還支援補助金を支給します。	106万円	企画政策課
2 職住近接を意識したPR強化とライフイベントに合わせた支援による移住定住の促進	職住近接を意識し、当市を中心とした通勤圏内にターゲットを絞ったPRを強化・展開し、ライフイベント(就職・結婚・住居取得)に合わせ、『新婚さん「こさい」へおいでん新生活応援金』や、『住もっか「こさい」定住促進奨励金』などの支援により、「住みやすい湖西市」としての施策を若者にアピールしていくことで定住促進を図ります。	6,928万円	企画政策課
3 RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)の導入	働き方改革の一環として、これまで人が行っていた時間がかかる単純作業の短縮やミスを防止、業務効率化を図るため、パソコン上の操作を自動化するソフトウェアについて、令和元年度に財務会計処理について有効性の検証を行った結果、効果が認められたため、導入し、対象業務を拡大します。	165万円	情報政策課
4 企業版みらいのこさい調査事業の創設	未来の湖西を見据え、稼ぐ力の確保や喫緊の政策課題に向けた新しい取組について、職員だけでなく民間事業者の知見やノウハウを活用し市民サービスの向上に繋げる仕組みを創設します。	100万円	企画政策課



# 環境部の重点事業

項目	主な内容	予算額	所管
1 臭気対策への取り組み	臭気指数の規制基準を見直すため、令和元年11月から試行している市民臭気モニターの成果をもとに臭気測定を実施します。 また、畜産臭気対策として引き続き、畜舎の密閉化、消臭剤散布等の臭気対策を実施する畜産事業者に対して県と連携し支援していきます。	475万円	環境課 産業振興課 (産業部)
2 ごみ焼却施設の再稼働	安全・安心な廃棄物の処理や市民サービスの拡充と環境への負荷や運営コスト削減のため、ごみ焼却施設の再稼働とリサイクルプラザの長寿命化工事及び長期包括管理の実施に向け事業者を決定します。	1,734万円	廃棄物対策課



環境センター外観



# 健康福祉部の重点事業

項目	主な内容	予算額	所管
1 精神障害者医療費 助成事業	精神障害者の入院費助成において、現在入院2か月目から対象としているものを、入院1日目から対象とします。	590万円	地域福祉課
2 介護職員養成事業	市内の介護事業所等における介護人材の確保・充実を図るため、介護職員初任者研修を修了し、市内の介護施設に一定期間以上就労していること等を条件に、当該研修に要した費用の一部を助成します。 (研修費の1/2 上限5万円/人)	50万円	長寿介護課
3 養育支援訪問事業	従前の訪問事業に加え、支援が特に必要な家庭に対し、集中的に保健師・助産師・保育士等がその居宅を訪問し、養育に関する指導、助言等を行うことにより、当該家庭の適切な養育の実施を確保します。	36万円	子育て支援課

## 養育支援訪問事業



## 介護職員養成事業



# 市民安全部の重点事業

項目	主な内容	予算額	所管
1 高師山地区津波避難タワーの整備	津波避難施設空白域を解消するため、高師山地区に津波避難タワーを整備します。	5,642万円	危機管理課
2 犯罪被害者等支援	犯罪被害者等に対する精神的・経済的支援を行うため、総合相談窓口を設置し、被害の程度に応じた見舞金を支給します。 (死亡:30万円 重症:5万円)	30万円	危機管理課
3 防災ほっとメールの多言語化	日本語とポルトガル語で配信している既存の防災ほっとメールに、スペイン語、やさしい日本語を追加します。	195万円	危機管理課

高師山地区津波避難タワー



防災ほっとメールの多言語化



項目	主な内容	予算額	所管
4 転入外国人ガイドDVDの作成	外国人に対する生活支援の一環として、ゴミ出し、自治会加入、災害時の対応など生活ルール等の動画を作成します。	308万円	市民課

外国人ガイドDVD作成



# 産業部の重点事業

項目	主な内容	予算額	所管
1 湖西市BaaS事業 (※)	市内企業が運行するシャトルバスに市民も乗車を可能とする仕組みの構築など、移動の利便性向上につながる次世代型モビリティサービスの実証実験等を行います。	1,000万円	産業振興課
2 女性活躍等の推進	大学と連携し、男女比のアンバランスの解消につながる施策の企画立案のための調査をフィールドワーク等により実施します。 また、労働意欲を持つ女性に対する再就職支援や、性別等に寄らずに能力を活かせる職場づくりに取り組む中小企業に対する専門家派遣等を強化して実施します。	623万円	産業振興課
3 観光誘客の強化	観光振興及びにぎわいのまちづくりを進めるため、三河地方等への情報発信を進めるほか、新居弁天地区や道の駅等の既存施設の観光振興と誘客強化に向けた「湖西市観光基本計画(第2次)」を策定します。	267万円	観光交流課
4 ヘミングウェイカップ等推進事業	7月に初めて国内で開催される「浜名湖キューバヘミングウェイカップ2020」を支援するとともに、関係機関と連携して夏の浜名湖地域のにぎわいづくりを推進します。	300万円	観光交流課
5 駅周辺のにぎわいの創出	昨年夏に実施した新所原駅南口における「広bar」を今後も継続すると共に、さらにこの取り組みを他の地域にも広げ、市内全体のにぎわい創出・商業振興を実施します。	25万円	産業振興課

湖西市版MaaSイメージ



新居弁天の将来構想

浜名湖 キューバ ヘミングウェイカップ



ヘミングウェイカップ

※BaaS = Bus as a Service  
(バス アズ ア サービス)  
BaaSは、BusとMaaSを合わせた事務局による造語。

# 都市整備部の重点事業

項目	主な内容	予算額	所管
1 中心市街地の活性化に向けた立地適正化計画の策定	利便性の高いJRの駅を中心として、人々が集まることのできるような「中心市街地の活性化」を目指した、『湖西市立地適正化計画』を策定します。	2,449万円	都市計画課
2 浜名湖西岸土地区画整理事業 大倉戸茶屋松線整備事業	雇用の拡大など更なる産業振興による持続的発展を図るため、新たな工業団地を造成する『浜名湖西岸土地区画整理事業』を支援するとともに、そのアクセス道路ともなる『大倉戸茶屋松線』を整備するものです。 令和2年度は、主に河川工事や道路整備工事を行います。	13億3,353万円	土木建設課 都市計画課
3 歩行者の安全対策	自動車交通量の多い箇所や通学路点検などで危険性が高いと判断された箇所について、主に歩行者の安全確保のため、鷲津踏切の改良を含む歩道の整備を行うことや、ドライバーが注意して運転できるよう道路への区画線設置など、交通事故防止につながる対策を行います。	1億320万円	土木管理課 土木建設課



# 教育委員会の重点事業

項目	主な内容	予算額	所管
1 保育の受け皿の拡充	安全・安心な教育・保育環境の確保と待機児童の解消を目指し、岡崎幼稚園のこども園化を推進します。また、私立園の新設や施設整備を積極的に支援します。	3億2,227万円	教育総務課 幼児教育課
2 学校教育施設の修繕	学校教育環境の改善のため、小・中学校の屋上防水工事を実施します。また、トイレ環境を改善するため、小学校のトイレの改修を行います。	3,845万円	教育総務課
3 東京2020オリンピックに向けた取り組み	東京2020オリンピック・パラリンピックの聖火リレーを実施します。静岡県スタート地点として6月24日新居関所跡前で出発イベントを行います。 オリンピックに向け、スペイン卓球競技代表選手団の事前合宿を7月に行う予定です。	906万円	スポーツ・文化課
4 給食センター化への取り組み	小中学校の老朽化した給食施設の改善に向け、給食施設のセンター化など今後の学校給食施設の整備について検討をすすめます。	522万円	教育総務課



こども園化する岡崎幼稚園



昭和39年東京オリンピック聖火リレーの様子  
(写真提供)ハちゃん会



中学校体育館屋上防水事業



学校給食施設基本計画を策定

## 消防本部の重点事業

項目	主な内容	予算額	所管
1 通信指令システム 整備事業	通信指令システム(情報系機器等)の経年劣化に伴う障害や故障を防ぐために、一部の機器を部分的に更新し、災害対応に備えます。	1億869万円	警防課
2 消防団員の準中型 運転免許取得への 助成	運転免許制度の変更に伴い、消防ポンプ車(3.5トン以上)の運転には準中型免許が必要となったことから、消防団員が準中型免許を取得し易い環境を構築するため、その取得に要した経費の一部を助成します。 (経費の1/3 上限8万円/人)	24万円	消防総務課



通信指令システムの部分更新

## 市立湖西病院の事業動向

項目	内容	効果額
1 地域包括ケア病床の運用開始	急性期治療が終了し病状が安定したものの、すぐに自宅や施設等での療養に移行することに不安がある患者に対して、在宅復帰に向けて医療管理、診療、看護、リハビリを行うことを目的とした地域包括ケア病室を2病室10床、令和元年6月に開設しました。	1,400万円
2 白内障手術の実施	平成30年6月から白内障の手術(一日上限5件)を開始しました。令和元年7月からは設備を充実し一日上限7件までできるよう拡大しました。	1,000万円
3 施設基準の見直し	脳血管疾患リハビリテーション料及び検体検査管理加算について、業務体制を整え施設基準の届出を行いました。	1,200万円
4 地域連携の推進	地域連携外来や緩和ケア外来を設置することにより、病病連携・病診連携を推進しています。	540万円

### 病院事業会計への繰出金の推移

年度	繰出金予算額	前年度比	うち基準外	基準外前年度比
平成30年度	11億1,518万円	-	6億円	-
令和元年度	9億3,552万円	▲1億7,966万円	5億3,000万円	▲7,000万円
令和2年度	8億9,848万円	▲3,704万円	4億9,310万円	▲3,690万円

